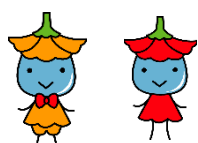
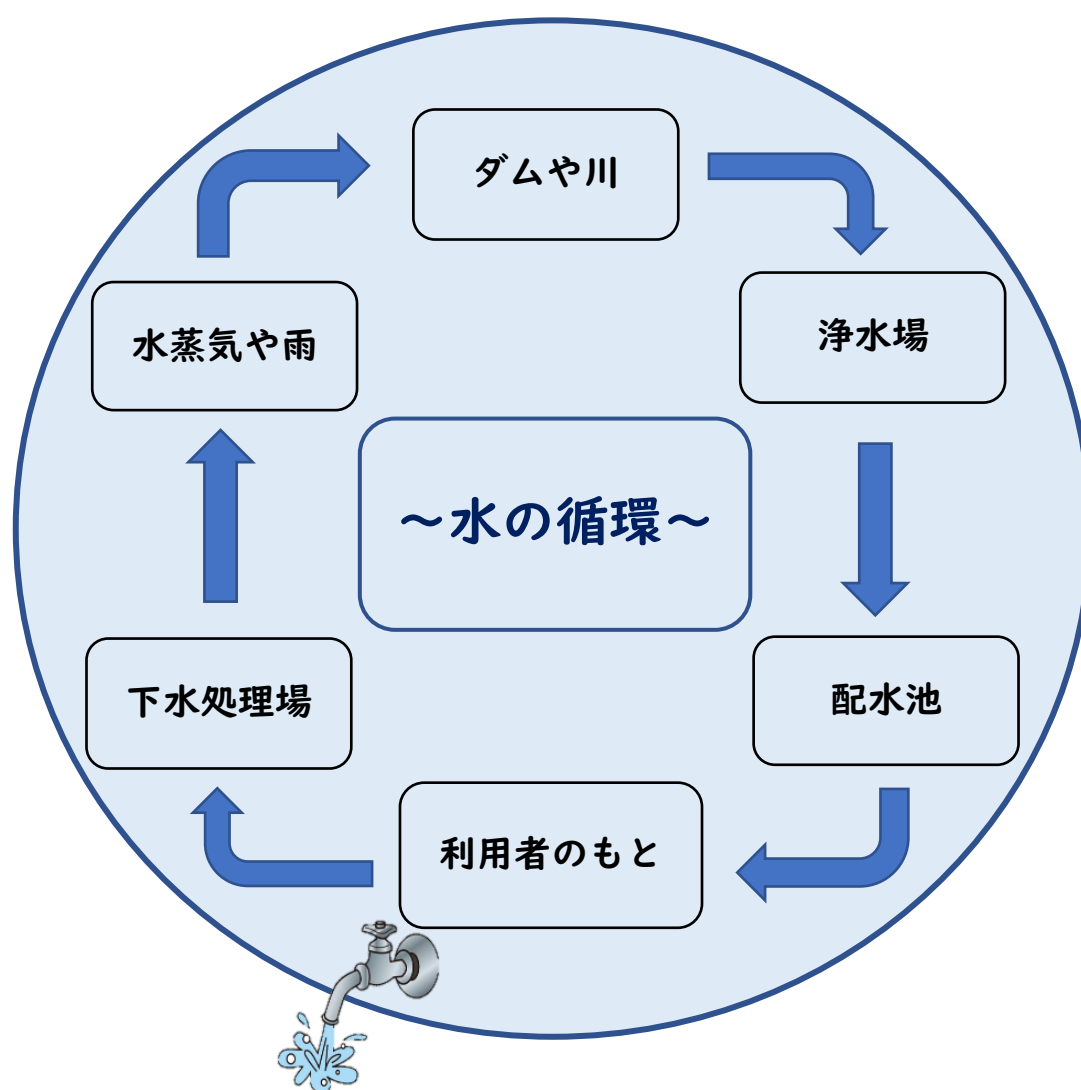


第14期沖縄市水道モニター会議（第1回） 活動報告書



令和8年8月21日開催

沖縄市上下水道局総務課企画係

第 14 期沖縄市水道モニター会議（第 1 回）活動報告書

【概要】

日 付：令和 8 年 8 月 21 日（金）

時 間：13：30～16：00

場 所：沖縄市上下水道局 2F 小会議室

内容：委嘱状の交付・水道局の業務内容を知る

参加者：水道モニター 7 名、上下水道部長、総務課長、料金課長、工務課長、下水道課長
補佐、副参事兼管理課長、総務課技幹、企画係

日 程：13：30～委嘱状の交付・部長あいさつ →13：40 モニター自己紹介

→13：50 水道事業の説明 →14：00 水道局各課の説明

→14：15 休憩 →14：30 のぞいてみよう蛇口の向こう側説明・質疑応答

→14：55 アンケート・意見交換 →15：55 事務連絡 →16：00 解散

【活動内容】

令和 8 年度から新たな水道モニターを迎え、第 1 回目の会議を開催した。水道モニターへの委嘱状交付から始まり、局長より水道モニターへ挨拶がおくられた。

今期は第 14 期目となり、令和 10 年 3 月 31 日までの任期の期間中、2 年にまたがって計 6 回の会議を予定している。今回 1 回目は、水道モニターの役割と基礎的な知識を学ぶことをねらいとして、上下水道事業の概要と各課より業務内容の説明を行った。上下水道事業の概要説明では、上下水道事業の歴史を振り返り現在に至るまでの経緯等を学んだ。各課業務内容の説明では、各課長それぞれが課で担当する業務内容について係ごとに説明し、安心・安全な水道水を供給する体制を学んだ。各モニターからは、様々な視点における意見や質問等があり、有意義な時間となった。

休憩をはさみ、後半は『のぞいてみよう蛇口の向こう側』をテーマにパワーポイントを用いて説明を行った。上下水道関連施設にも興味をもていただくことができ、現地での見学を希望する意見もあったため今後企画していく中で普段見ることのできない施設見学等も検討していく。

・水道モニター会議での質疑応答やアンケート回答は以下にまとめる。

【質疑応答内容（抜粋）】

（事前質問における質疑応答）

質問①) 昔、配水管が鉛では？と言われたことがありました。今も鉛を含む配管を使用しているところがありますか？

回答①) 現在、水道管の布設において鉛管を使用することはありません。沖縄市でも多くは、給水管や給水器具（鉛製、鉛分を含んだ素材のメーター、古い塩化ビニル管）に使用されてきました。鉛は加工しやすい金属なので、特に複雑な形をしている給水管などに使用されてきました。水道局では、このメーター及びメーター回りにある鉛製管を配管替えしてきました。ただし、水道局が把握できないお客様の建物で使用されているものについては、不明となっています。

質問②) 水道料金はどのような仕組みできまっているのですか

回答②) 水道料金は、水道水を家庭に届けるまでに必要な費用を積み上げた額を考慮して設定されています。

具体的には、配水管や施設の維持修繕、水質管理、人件費、将来の施設更新に必要な費用などが含まれます。

料金は、メータ購入費や検針業務等の固定費分にあたる「基本料金」と、使った水の量に応じて負担する「従量料金」があり、沖縄市では、家庭用でよく使われる 13mm～25mm メータでは、「基本水量内」の使用料であれば、従量料金は発生しないものとなっています。

【モニターアンケート回答（抜粋）】

●今回の水道モニター会議を通して学んだこと・感じたこと等

- ・様々な業務内容の説明はとても聞きやすくもっと聞きたいと思った。
- ・今まであまり気にしていなかったが下水道も大きく関わりがあり、多くの人の手によって安全な水を使うことができる。（使用後の処理も大切）

●今後水道モニター会議で行いたいことや見学したい場所

- ・浄水場
- ・ダム
- ・調整池、配水池
- など



▲委嘱状交付



▲各課業務内容説明



▲のぞいてみよう蛇口の向こう側



▲第1回会議参加者のみなさん